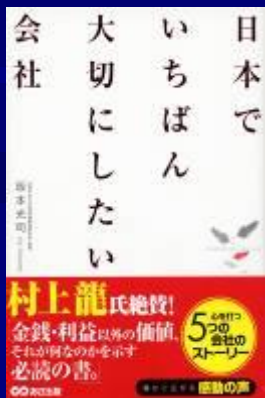


人が幸せになる大学／学校教育 リカレント教育・企業人材育成とは

人を大切にする経営学会 会長
千葉商科大学大学院商学研究科

中小企業人本経営 (EMBA) プログラム長
坂本 光 司



1. 問題提起 I

1. 今日の産業社会の問題

- 1) 低い仕事の満足度
- 2) 多いやる気がない社員
- 3) 高い新卒者の離職率
- 4) 精神障がい者の増加
- 5) 低い能力発揮度
- 6) 増加する黒字リストラ
- 7) 依然高い赤字企業比率

1. 問題提起 II

2. 間違った経営学・企業学教育

こうした問題が発生する最大の問題は、組織のリーダーの問題である。

そうしたリーダーが多いのは、教育をしている、高等教育の問題も大きい

- 1) 目的ではなく手段重視の経営学
- 2) 利他ではなく自利重視の経営学
- 3) 共生ではなく競争の経営学

1. 問題提起 III-I

3. わが国経済社会が抱える3大問題「少子高齢化」「慢性的税収不足」「地方の衰退」問題は、解決不可能ではない。

「いい企業」を飛躍的に増加させればいい。

いい企業こそが、3つの問題を同時に解決してくれるからだ。

1)いい企業は社員の子供の数が多い

2)いい企業は黒字経営

3)いい企業が立地している地方は元気

1. 問題提起 III-Ⅱ

つまり、いい企業は、3大問題だけでなく多くの社会課題を解決する

- 1)いい企業は障がい者雇用に熱心
- 2)いい企業は高齢者雇用に熱心
- 3)いい企業は社員が辞めない
- 4)いい企業は社員が鬱にならない
- 5)いい企業は社員教育に熱心
- 6)いい企業は社会・地域貢献に熱心
- 7)いい企業は地域内外から人を呼び込む
- 8)いい企業は社員や家族の福利厚生が充実している
- 9)その他

1. 問題提起 IV

4. いい企業を飛躍的に増加させるために
 - 1) いい企業の定義を抜本的に変える
 - 2) 金融機関の融資基準を変える
 - 3) 国や地方自治体の企業の顕彰制度を変える
 - 4) 高校・大学等での教育内容を変える
 - 5) 親の意識・マスコミの報道姿勢の変革

1. 問題提起 V

5. いい企業とは

1)「日本でいちばん大切にしたい会社」大賞では

①6つの応募基準

②50の第1次審査基準

③20の第2次審査基準

2)いい企業を要約すれば

①五方良し経営を愚直一途に実践している企業

②5人がその組織に所属することで幸せを実感している企業

③お天道様に顔向けのできる経営をし続けている企業

④社員が大切な人を就職させたいと思う企業

⑤社員の働き甲斐・能力発揮度が高い企業

1. 問題提起 VI-I

6. しかしながら、多くの企業は、問題を抱えているにもかかわらず、その解決の唯一の担い手である人財確保や教育に熱心ではない。だから問題解決しない

1)いい企業の人財育成費

①1%

②5%

③10万円

1. 問題提起 VI-Ⅱ

2) いい企業の人財採用

- ①新卒重視
- ②定期的採用
- ③理念採用
- ④全社員で採用
- ⑤独自の説明会の開催

1. 問題提起 VII

7. 離職率が高い要因は複合である

- 1) 教育の問題
- 2) 就職指導の問題
- 3) 学生の問題
- 4) 学生の保護者の問題
- 5) マスコミの問題
- 6) 企業の問題

1. 問題提起 VIII

8. 精神障がい者増加の原因

- 1) ノルマ経営
- 2) 成果主義経営
- 3) 個人戦経営
- 4) 急成長・急拡大経営
- 5) 損得-勝負け重視経営
- 6) 企業優先経営

2. 課題解決のために I

1. 教育機関

1) 小学校・中学校・高等学校

- ① インターンシップの充実
- ② 社会人教員の多用
- ③ 徳を高める教育の充実
- ④ 10年以上社会経験者とする

2. 課題解決のために II

2) 大学・大学院

- ①大学の 신설・学部の新設の厳格化
- ②教員の資質の再検討
 - 学歴・博士取得ではなく実績
 - 全員が任期付き
- ③研究者と教育者の区分
- ④大学幹部へのマネジメント教育
- ⑤教員の外部評価
- ⑥科研費の再検討
- ⑦社会人担当教員の資質
- ⑧その後の教員審査の再検討

3. 1つの試み

1. 99.7%の中小企業のための教育
2. 企業経営のやり方ではなくあり方を
 - 1) 中小企業人本経営 (EMBA) プログラムの開講
 - ①主催 千葉商科大学(商学研究科) & 人を大切にする経営学会
 - ②内容 人を大切にする経営
 - ③講師 学者・経営専門家・経営者

4. まとめ

- 1) 教育改革なくしてわが国の再生はあり得ない
- 2) ふさわしい教員を多数登用しないと大学・ビジネススクールは期待されない
- 3) 世のため・人のためにならない大学は衰退する
- 4) 大学の問題の多くは内部にある